宍戸昌夫君

作曲 作歌

雪解の小路たたずめば 春未だ浅き白楊のはるましまるとはくやう

木の間もれくる夕嵐 しばし聞けとて私語の

あはく足げに咲き出でし

榾火をめぐり歌はなん 髪び なつかしの原始杜肩とりて おぼろおぼろの水芭蕉

> 青史をかざす記念祭 今したたへん三十回のいま 昔変らぬ風なれやむかしかは 長髪頬に戯むれて

常緑を祝ふ自治の宴 契の杯に汲み交はし 尽きぬ男子の黒潮を 美酒の夜は更け行けど